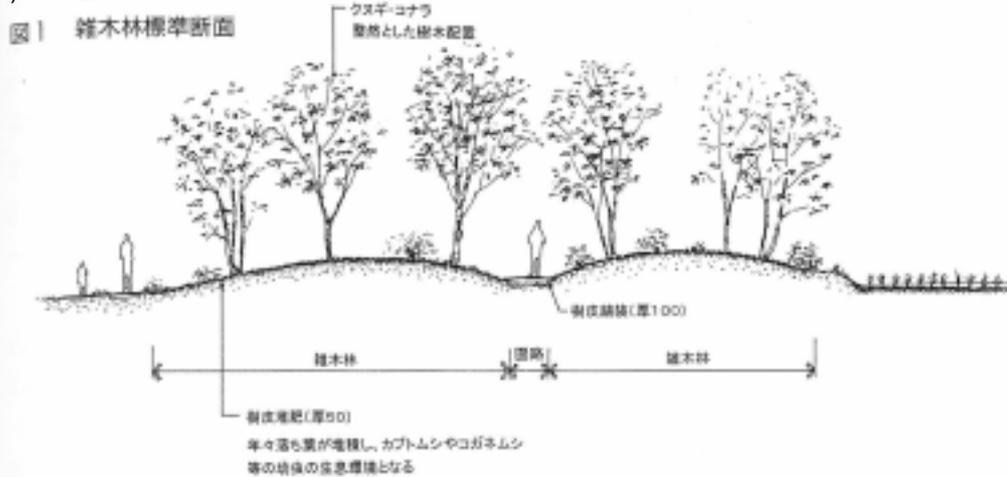


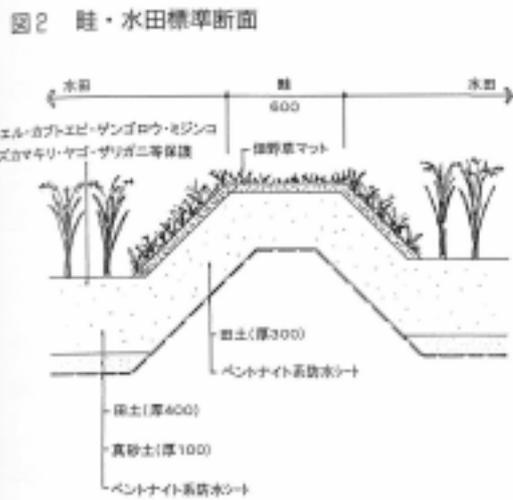
事例 NO.38		
事業の種類	公園	
環境配慮の概要	ビオトープ整備による，農村環境の再現	
事業名	花博記念公園 鶴見緑地自然体験観察園	
事業主体	大阪市	
実施場所	大阪市鶴見区緑地公園	
実施期間	平成9年～平成10年	
事業概要	全体事業費	-
	施工区間等	面積 約1.4 ha
	事業の目的・経緯等	平成2年に開催された花の万博会場跡地を再整備し，豊かな自然と触れ合えるよう里山の環境が整備された。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 土のビオトープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑木林(クヌギ・コナラ林)...樹皮堆肥を敷き均すことによって表土づくりを行い，雑木林の成長とカブトムシなど昆虫の育成を図る。(図1)</li> <li>・水田・畑...休耕田・廃田の田土を保全し，田畑の造成と生息昆虫類の保護を図る。(図2)</li> </ul> <p>(2) 草木のビオトープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路傍・畦・水路・池・野草広場...日本在来種を基本に採取育成した野草マットを使用し，様々な昆虫類の餌場，すみか等の生息環境を確保する。(図3)</li> </ul> <p>(3) 水辺のビオトープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用水路...流水域に暮らす生物の生息環境を保全するため，護岸形態に変化をつける(野草マット護岸，空石積護岸，丸太護岸など)</li> <li>・ため池・蓮田...止水域に暮らす生物の生息空間を形成するために，野草マットや多孔質の空石積による護岸とし，石積上部は野草マット張りとする。(図4，5)</li> </ul>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験や自然観察などに多くの市民が集まり，自然に親しんでいる。</li> </ul>	
留意点等		

(図面, 写真, 説明)

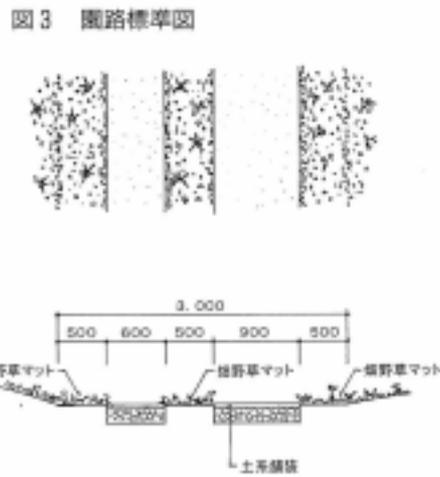
【(1)土のピオトープ】



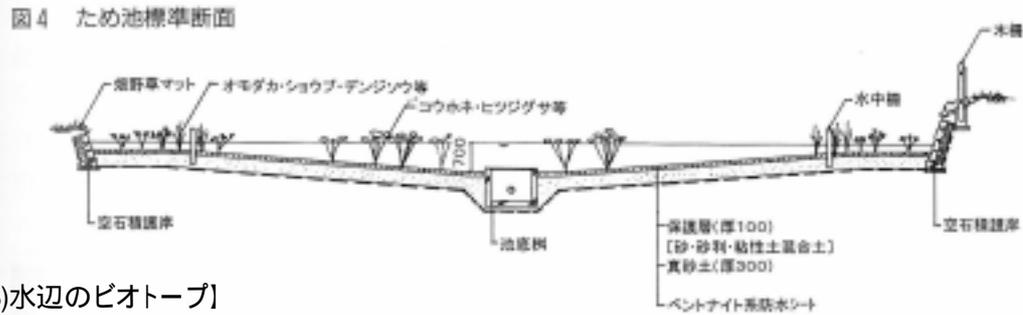
【(1)土のピオトープ】



【(2)草木のピオトープ】



【(3)水辺のピオトープ】



【(3)水辺のピオトープ】

